

令和2年度第2回広島市廃棄物処理事業審議会 議事要旨

1 日時

令和2年12月18日（金） 午後1時30分～午後3時3分

2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席委員（8名）

今岡 務（会長）、川本 季子（副会長）、伊藤 圭子、伊藤 敏安、加藤 和行、滝島 繁樹、
鉄村 忠基、天玉 朝子（敬称略）

4 次第

(1) 開会

(2) 議事

「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の中間見直し（素案）について

(3) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

2名

7 会議資料

〈会議関係〉

○ 広島市廃棄物処理事業審議会 委員名簿

○ 令和2年度第2回広島市廃棄物処理事業審議会 配席表

〈議事関係〉

○ 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）

○ 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画中間見直しの主な改定内容（案）

8 議事要旨

発言者	発言要旨
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> 「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の中間見直し（素案）について事務局から説明をお願いします。
環境政策課長	<p>【「広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の中間見直し（素案）について説明】</p>
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> ただ今の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 43ページの「大型ごみのリユース・リサイクル方策の検討」についてだが、具体的にどんな場所でやろうとしているのか。検討の進捗状況を教えてほしい。
指導担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 卒業する大学生が処分しようとする、リユース可能な家具や家電製品を新生入生にバトンタッチしてリユースさせるような取り組みについて、現時点では、場所などの選定には至っていないが、今後、市内の大学生協等に働きかけていき、具現化していきたいと考えている。
伊藤敏安委員	<ul style="list-style-type: none"> 前ははまだ概要だったが、数値、異常値、外れ値の背景説明、要因などが加えられたので、随分、分かりやすくなったと思う。二つほど気付きがある。一つは、24ページの1番下、家庭系その他プラスチック等の処分の方法だが、「国の動向を注視しながら検討する必要がある」ということで、国の関与があるという表現となっている。一方、53ページの行政の取組のところ、国の動向を見ながら検討するのはいいのだが、中程の記載で、その他プラ等については、統合を検討するというので、市の主体的な考えがあって、国の動向等は参考の位置付けとなっており、24ページと53ページは、少し国との関係の表現が違うように受け取れる。計画期間外の令和10年度までの話なので、検討でもいいが、少し表現を工夫し、統一した表現にしたらいと思った。 数値目標については、頑張らなくてはいけませんが、その中で気になったのが19ページ。三角の紺のグラフは実績、オレンジの四角が人口問題研究所の推計と言いながら、広島市の基本計画でこれをベースにしているということであるが、1万数千人違う。853g×13,000人分だけ、多くなるということになる。20ページの現状放置ケースだと、紺の三角のグラフがオレンジのグラフになるということ、基本計画の人口分だけ増えている。これは、急に増えてるように見えるので、20ページにグラフを掲載するのであれば、現在の実績人口が横ばいケースの場合と、基本計画の人口ベースの場合と二つのグラフを掲載したら親切だと思った。これでは、いきなり増えているように見える。 問題は、36ページ。現状の人口維持でもあまり変わらないと思うが、そんな中でも、一割削減を目標とすることをもっと出したらいと思う。何故かという、36ページの本文の「平成25年度の食品ロスの量に相当する」というところは、少し特出ししている気がする。もっと広く1割削減に向けて努力するというので、例えば右の37ページには、家庭ごみの食品ロスの可能性がある、こういった形で事業所の食品ロスの可能性があるかどうか。そして、受け皿としてフードバンクという取組も紹

発言者	発言要旨
	<p>介し、こういった意味では、家庭の食品だけではなく、事業所の食品、そして、プラスチックごみとか、あるいは紙類も大きいと思うが、そのようなものも含めて、取り組む。特に紙類は、ペーパーレス化、デジタル化も進んでいくと思うので、出来る限り減らしていく。包装もそうだと思う。今はマイバックが普及しているから、包装も簡略化するなどで、削減は、食品ロスに限らず、特にプラスチック、紙類についても出してもらったら取り組みやすいのではないかと思った。</p>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初のグラフの書きぶりを統一することについては、検討する。 ・ 人口推計のグラフについては、誤解が生じないように、わかりやすいように検討する。 ・ 排出量の目標についての記載内容についても検討する。
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局で整理をしていただきたい。
伊藤圭子委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回まとめていただいた基本計画の中間報告は、実態を示していただいた上で、それに対してどのような課題があり、そして、市民、事業者、行政がどんな役割を担わないといけないのか。また、それを具体的に示していただいているので、今後の見通しも立ち易く、大変分かりやすかった。 ・ やはり、30ページに示してあるように、かなり排出量を削減していかないといけない。これまでの5年間において、いろいろ努力があつて、少しずつ減ってきているもの、そうでないものといろいろある。表6を見ると、それをさらに減らしていかないといけないということが分かる。ということは、これまでの取組に加えて、少し大鉈を振るわないといけないのではないかと、図やデータから率直に思った。 <p>何を減らしていくのかという時に、31ページには、安価なプラスチック製品の増加や、大型ごみの増加について記載されているが、以前の審議会の時に、スーパーの方が、例えば、ブロッコリー一つも、過剰に梱包されているということを紹介してくださった。事業者がそういったことを無くすには、どのようにしたらいいのかということで、例えば、女性が働きやすい企業として認められた「くるみん認証マーク」などのように、よく取り組んでいる事業者が市民にわかりやすくすることによって、その企業イメージが良くなるような、何か手立てはないものかと思った。</p> <p>28ページに市民の役割として、「自覚・責任」とある。また、事業者の役割もある。どうして排出したらいけないのか、自分たちの一つ一つの行動が循環型社会においては、加害者となり得る存在なのだと意識化させるような、何か手立てはないのだろうか。また、それを続けていると、市民にとっても不利益な状況になってしまうということを自覚できるような、手立てはないだろうか。例えば、市民への意識化のために、市民だよりを使うとか、ホームページ等もさらに活用していくとか、もう一步進んだ手立てをとっていかないと、これからの5年間で最終目標の達成は難しいのではないかと思った。</p>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表彰制度も環境局の中にはあるが、そういった取組をどこまで広く深くやっていけるかというところもあるかと思う。引き続きやっていければと思っている。

発言者	発言要旨
	<ul style="list-style-type: none"> 市民の意識啓発という観点で、児童等に対する教育という観点でごみの出し方など、そういったことはやっているが、大人になった時にもう一歩進んだ形でというのがまだできないところがあるかと思う。どういったことができるかということは、これから検討していきたいと思っている。
天玉委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほど伊藤委員が言われた市民に対しての啓発は、日々生活していて、大切なことだと思う。意識して見ていると、いろいろなところで情報発信していることはわかり、一般市民としては、勉強する機会は、意識すればあると思う。どう認識してもらおうかということが大切だと思うが、学校教育は非常に重要な役割があると思う。 もう一つ、事業者は、事業者としての役割があるが、もう一つは会社において、市民としての役割もあると思う。周辺市町から広島市に働きに来ている人も沢山いて、その人たちは、家に帰れば各市町の取組があり、それが重要である。しかし、働きに広島市に来た時は、広島市民としての取組も大事だと思う。そのような、事業者の方々の市民としての役割が少し薄いということ、日頃、働いていて感じる。最近、分類が変わっていたりして、それは、見ればわかるが、実際にごみを分別するのを見ていると、自分の職場で恐縮だが、なかなか難しい。できていないと思う。名刺以上の大きさの紙は資源ごみだと書いてあっても、やはり認識されていない。時々、私が指摘すると、分かってもらえるが、常に言っていないと認識してもらえないというのが、日頃、生活をしていて思うことである。 事業者は、事業者としての立場もあるが、市民としての役割ということ意識してもらおうといいのではないかと思う。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 詳細なデータが揃っており、敬服している。先ほど、御意見があったが、そのとおりだと思う。データはわかっているが、目標を決めているが、事業者にしても、家庭の人にしても、具体的にどんな意識を思っただけでいいのか、もっと一般的にわかりやすい、キャッチフレーズというか、心にしみるような一言があれば、自然と目標に向かっていくきっかけになるのではないかと思う。 以前、一人一日おむすび一個分減らそうなどという言葉聞いたが、わかりやすくいいと思う。そういった感じで、事業者にも家庭の人にも、わかりやすく、こうすればいいのだと腑に落ちるような、何か一言、キャッチフレーズのような、それに向かっていけば自然とごみが減るということになれば、理想的ではないかなと思っている。
鉄村委員	<ul style="list-style-type: none"> 25ページを見ていただきたいと思うが、私はもう随分前から気にしているのだが、町内会の加入率が非常に低くなっており、大きな問題である。これに伴い、町内会において、ごみの分別が正に問題となっている。 私が住んでいる五日市は、コイン通りで西と東に分かれているが、東側の五日市町は収集車が入るのがやっとなで、離合も困難というような道路があるため、戸々の家ごとに収集している。西側の五日市中央は田んぼが多かったところに徐々に人口が増えてきた地域で、空き地や道路の幅があるため、概ねごみステーションを設けている。私が会長をしている佐伯区公衆衛生推進協議会の中でも、プラスチックなど、切れるものは切って少な

発言者	発言要旨
	<p>くして出しましようと言っている。また、名刺以上の紙が資源ごみだということを、公衛協は各冊子等で知らせているが、皆さんが本当に知っているかどうか。是非、お願いしたいのは、学生の寮、広島には大学が沢山あるが、県外から来ている人が町内会に入っていない。こういう学生のごみの出し方のモラル、これを学校の方で御指導をお願いしたい。</p> <p>いずれにしても市民一人一人がごみを出しているわけだから、気を付ければむすびの1個分くらいは、モラルの問題で直ぐに減ると思う。多くの人が、なんとなくごみとして出しているが、これを宝だと思って捨てれば、私はもっと広島市はきれいになると思う。</p>
川本副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 41ページだが、「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会を通じた働きかけ」と書いてあるが、私は実行委員長をしているのだが、これまで行ってきたスーパーの店頭での啓発活動が、この一年間、新型コロナウイルス感染症の影響できていない。せっかく食品ロス削減推進法ができ、エールエールの地下広場で広報をしようと考えていたが、これもできていない。現在、活動ができていないので、役割を果たさないといけないとは思っているのだが、コロナ禍の状況であり、これが終わらないと食品ロス削減の啓発もなかなか難しい。しかし、37ページに書いてあるように、ご飯茶碗1杯約150gだが、一日25gだけ減らせばいいと言え、誰でもできることである、それを広報すれば、25gよりもっと減らすことができる。この1年、実行委員会の活動の中で、声掛けなど努力はしてきたが、大きな活動や検証などができていない。実行委員会には、市民も企業の方も入っているので、何らかの形で広報などできたらと思う。また継続してお手伝いできることがあったらやっていきたいと思うので、市民と市政などに掲載するなど、広報をお願いしたい。 ・ 使用済み小型家電のボックスは各区役所に設置してあるが、実際にどのくらい集まっているのか。実際は家電量販店に持ち込んでいるのか。それともこの回収ボックスが活用されているのか、教えてほしい。区役所に回収ボックスが設置してあることについての広報が途絶えていると思うので、広報についてもよろしくをお願いしたい。
指導担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川本副会長からお話があったが、広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会の主要な活動ができていない状況である。通年であれば、毎月1日を「ごみ減らそうデー」として、スーパーの店頭で、食品ロス削減を対面で市民に呼び掛けるということをしていたが、密を避ける中ではできない。また、エコクッキング教室を公民館で開催したり、フードドライブを各種イベントで実施することも見送らざるを得ない状況である。こうした中、今年度は、食品ロス削減のオリジナルポスターを約700枚作成し、公民館、学校、広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会の委員等に送付して、市民に見ていただくことでの啓発を行ったところである。 ・ 小売店では、自分でトングを使用して小分けするような売り方ができないことであったり、コンビニでのマイカップを使用したサービスを中止したり、飲食店ではテイクアウトの際にプラスチック容器を使用するといったことで、使い捨てのプラスチック容器が増えている状況がある。こうし

発言者	発言要旨
	<p>た事態なので、事業者の生き残りをかけた取組を止めることはできないが、実行委員会としては、買い物の際のマイバック、マイ箸を携行するなどのサステイナブルな行動を呼びかけるようなポスターを作るなどして、活動を実施していきたい。また、身近なところで、マイバック、マイカップを携行するといったことを、「正しいごみの出し方」とあわせて全戸配布するチラシなどにも掲載し、市民に対する啓発をしていきたいと考えている。</p>
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型家電のボックス回収だが、現在、本市では、各区役所とゆめタウン広島、ゆめタウンみゆきの10か所にボックスを設置し、民間の認定事業者が実施している。実績としては、平成30年度は18,479kg、令和元年度は22,163kgで、若干ではあるが伸びている状況である。
川本副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型家電リサイクルの回収ボックスについては、気になっていた。広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会や広島消費者協会においても再度周知をしていきたい。
滝瀧委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素案については、中間目標と減量の状況が書いてあり、さらに深い評価がしてあり、大変良くなっていると思う。最終目標は変えないということで、排出量、焼却量については、色々な計画で達成できるのではないかとと思う。しかし、埋立量の目標値は40,000tということで、30%以上の削減ということになる。これは、玖谷埋立地で受け入れていた産業廃棄物の受入れを停止したから大丈夫そうだという話だったと思うが、34ページの図29の事業ごみの17,304tが削減されるということなのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度の事業ごみにおける埋立量の実績が17,304tとなっているが、産業廃棄物の受入れ停止により約10,000tの減少となる。また、事業系プラスチックごみを令和2年度から焼却処分しており、これに相当する埋立量の削減が予想される。
滝瀧委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ その辺りの数値が書いてあると、埋立量の目標達成も大丈夫かなと思える。 ・ 埋立てるのではなくて、焼却することで、事業者は困らないのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業ごみは、今までと同じような出し方になるが、産業廃棄物については受け入れないということである。
滝瀧委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受入れを停止することによって、事業者が困っているということはないのか。
施設課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで玖谷埋立地で受け入れていた産業廃棄物の廃プラスチック類は約10,000tあったが、これらは、今年度から民間の産業廃棄物処理施設での処理となっている。広島市内にある民間の産業廃棄物の安定型最終処分場の残余容量は十分にあり、処理先が無くなり事業者が困るということはない。また、これまで埋め立てていた年間約5,700tの事業系一般廃棄物のプラスチックごみは、今年度から安佐南工場で焼却処分しており、これについても、事業者が困っている状況ではない。
滝瀧委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の処分場で処理する分は、このグラフに入っていないのか。
施設課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理法の規定に基づき一般廃棄物と併せて処理できるとされている産業廃棄物の一部を、本市の一般廃棄物の埋立地で受け入れていたことから、受入れ分を事業系ごみの埋立量としてカウントしていたものである

発言者	発言要旨
	が、民間で処理される産業廃棄物は、この処理計画での扱いとはならない。
伊藤圭子委員	<ul style="list-style-type: none"> 12ページに政令指定都市の1人1日当たりのごみ排出量のグラフがあるが、家庭ごみについては、広島市民はよく頑張っていると思う。事業ごみに関しては、例えば横浜市、川崎市は、かなり少ないが、これは事業者数が異なるからなのか、それとも何か良い取組をしているのか。わかれば教えてほしい。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 一概には言えないが、都市ごとの事業者の業種の特徴により、排出するごみの種類や量が違っているということもあるのではないかと思います。
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物という形で民間の処理業者に処理処分をお願いしているものの状況もあると思う。
川本副会長	<ul style="list-style-type: none"> コロナの感染者が増えているということで、今後、さらに自粛ということになると思うが、これから家庭ごみが増えるのではないかと思います。 テレビ番組で見たが、東京都で、ごみの収集事業者がごみを集めに行ったら飲食店の客が減り、ごみが減ったことにより、経営者が家庭に持って帰って処理するので、事業者のごみが少なくなり、コロナ過を想定せずに新しいトラックを購入してしまった後に、このような状況になり、経営していけないという問題が起こっているというのを見た。 広島市も営業自粛となるが、収集事業者はどのような状況かについて、分かる範囲で教えてほしい。
業務部長	<ul style="list-style-type: none"> 私の部署では、定期的にごみ収集運搬業者と話し合いの場を設けており、コロナの影響により、事業ごみはかなり減ってきており、収集量も減っているという状況は聞いている。ただし、これによって、従業員が雇止めになるとか、収集車両が余っているという状況までは聞いていない。 一方で、事業ごみを家庭に持って帰って処理するという事は、ルール違反であり、有ってはならないことと思っている。 家庭ごみの排出量が11月頃には元に戻ってきていたが、最近、コロナ感染者が増加してきている状況であり、今後、家庭ごみの収集については、市の職員、委託業者と連携して対応していきたいと考えている。
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> 色々とお意見をいただいたが、36ページの減量目標、1人1日当たり74g削減、家庭ごみの25g減量について、御指摘があったように、どう分かりやすく市民に伝えていくか。その辺りを少し考えていく必要があるのではないかと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で来年も含め、ごみの排出量はかなりイレギュラーな状況になると思うので、その辺りを判断しながら、施策に反映していただければと思う。 本日の御意見は、今後のスケジュール等を考慮して、私の方で預からせていただき、事務局と調整をさせていただくということで、本日の広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の素案については、内容的にはお認めいただいたということでもよろしいか。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> はい、お願いします。
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、そのようにさせていただく。 今後のスケジュールについて、当初、2月頃に再度審議会を開催し、この計画の最終的な見直し案を見ていただく予定にしていたが、新型コロナ

発言者	発言要旨
	ウイルスの感染状況が拡大していることを考慮し、このように集まっていたく審議会ではなく、メールや郵送で、皆様の御意見をいただきながら、最終案を作成させていただく方法を提案したいと思っているが、いかがか。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、お願いします。
今岡会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ では、そのような形で進めさせていただく。 ・ それでは、以上で予定していた議事は終了とさせていただく。